

事務事業名 下町きせつの公園維持管理事業

政策:01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策:04 都市の整備

部名:都市建設部

基本事業:99 施策の総合推進

課名:都市整備課

計画年度	年度	～	年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
快適で安全な公園が維持管理される。				【施設内容】 ・街灯(1基)、水飲み場(1個)、ブランコ(1基)、すべり台(1基)、鉄棒(1基)、ベンチ(4基)、物置(1基) 【業務内容】 ・樹木等維持管理 ・公園内遊具等施設管理(協定による地元市民) ・清掃等(協定による地元市民) 公園管理委託料（樹木管理業業務委託）262,500円							
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）											
快適で安全な公園が維持管理される。											
4 活動指標・成果指標・事業費の推移											
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値			
活動指標	除草・樹木の剪定等実施件数			件	3	1	8	-			
活動指標	施設修繕・工事件数			件	0	0	0	-			
成果指標	維持管理上の不具合・トラブル件数			件	3	1	0	-			
成果指標											
事業費				千円	151	300	671				
うち一般財源				千円	151	300	671				
5 目的妥当性											
○ 法定受託事業である（根拠法令→） ● 妥当である ○ 妥当性が低い				不特定多数の住民等が利用すし、かつ必需的な事業であるので市の役割といえる。							
6 上位の基本事業への貢献度											
○ 貢献度大きい（理由→） ○ 貢献度ふつう（理由→） ○ 貢献度小さい（理由→） ● 基礎的事務事業				公園は都市機能の一つであり、本事業は施策に貢献する。							
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討											
○ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ● 対象や意図の見直しはできない ○ その他				都市公園を快適で安全に維持管理する事業であるため、対象や意図を見直すことはできない。							
8 有効性（成果状況）											
○ あがっている ● どちらかといえばあがっている ○ あがっていない				遊具安全点検の実施又、樹木及び遊具等の維持管理を実施しているので、快適な空間・安全性が確保されている。 今後も予算の範囲内で計画的に施設等の維持管理を実施し、不具合・トラブル件数を減らすなど、成果向上の余地はある。							
9 有効性（成果向上余地）											
○ 成果向上余地・大 ○ 成果向上余地・中 ● 成果向上余地・小・無し											
10 事業の再編成											
● 類似の事業があり、再編成できる ○ 類似の事業はあるが、再編成できない ○ 類似の事業はない				他の公園管理事業と再編し、維持管理経費の削減を検討する。							
11 効率性（コスト削減の方法）											
● ある ○ ない				他の公園管理事業と再編し、維持管理経費の削減を検討する。							